

ふれあい

令和3年4月 第418号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広報部)

事務局：大代地区公民館
TEL:022-364-8442
FAX:022-364-8453

【掲載目次】

- 館長就任のご挨拶・・・・・・・・・・・・・1
- 職員就任のお知らせ・・・・・・・・・・・・・1
- 東日本大震災から10年 ③・・・・・・・・・・・・・2
- 令和3年度 春の交通安全
市民総ぐるみ運動・・・・・・・・・・・・・2

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、各種事業等が中止されていることから、『ふれあい』におきましても事業告知等を削減して、今月号も規模を縮小いたします。

館長就任のご挨拶



4月1日から、伊藤敏前館長に代わり大代地区公民館長として勤務いたします及川清人です。ご縁をいただきまして大代地区公民館で働き始めてから15年になります。

就職当初から地域の皆様には大変良くしていただき、地域の行事にも参加させていただきなど、貴重な経験をさせていただきました。

大代地区公民館が、多賀城市からの指定管理を受託し今年度は2期8年目となります。公の施設を預かる身として、まだまだ経験不足で未熟な私ではありますが、伊藤前館長のように、地域の皆様と共に大代地区との関係をより良いものにしていくために精一杯努力していく所存です。また、地域の皆様にも今後なご一層のご指導、ご協力をいただき、公民館運営を行ってまいりたいと思っております。皆様よろしくお願いいたします。

新任職員の紹介

4月1日から、常勤職員として榎田洋一が勤務いたします。

ご挨拶

多賀城市市民活動サポートセンターに10年務めておりました。主にボランティア活動をされているみなさん、町内会のみなさんのサポートが仕事でした。また、小学校の教員を経験していたり、震災後に仮設住宅で子どもの居場所づくりの活動をしていたり、子どもに関すること

にも関心があります。今度はこれまでの経験を活かして自分の住む大代でみなさんの学びのサポートやコミュニケーション作りをしていきたいと入職いたしました。

昨年、結婚を機に利府から多賀城に引っ越してきました。これからもっとたくさん地域の魅力を発見していきたいのでいろいろ教えてください。私も是非みなさんと共に学び、成長していきたいと思しますのでどうぞよろしくお願いいたします。

東日本大震災から10年 ③

大代地区にも多大な被害をもたらした東日本大震災から、今年で10年を迎えました。

今月は、大代中区の本郷町内会長からのお話を基に、震災を振り返ります。

2011年3月11日、マグニチュード9.0の巨大地震とそれに伴う大津波が東北地方を襲い、広範囲にわたり甚大な被害をもたらした。大代地区も大津波により大きな被害を受けた。我が家も津波

により大規模半壊の被害であった。

私は当時消防吏員として同月の3月31日に定年退職を迎える時期で、自宅地震、津波に遭遇した。現役時代阪神淡路大震災を視察し、ビル、住宅に至る所で倒壊、消火作業の形跡がなく燃え尽きた住宅街。その時の震災の爪痕に大きな衝撃を受けていたものであるが、地震当日の大きな揺れは阪神淡路大震災を彷彿させ、家を飛び出し町内を駆け巡り状況を確認したところ、倒壊建物も発生していないことが確認でき安堵した。

家に戻り、消防へ出勤のため自宅前の道路に出たら、川のほうから黒いかたまりのようなものが押し寄せて来るのが見え、咄嗟に津波と思い家に逃げ帰り、窓越しに道路のほうを見たら、津波が道路向かいの家の軒先まで達し、自動車やら何やらが凄い勢いで流されているのが見え、私自身もほんの数秒の差で命拾いしたと実感している。自宅を津波で囲まれ恐怖感に襲われながら津波をやり過ごしたのが思い出される。(次号に続く)

次号以降も、大代地区の町内会長から

お話を伺い、震災を振り返りながら、災害とどう向き合い、どのようなことに気を付ける必要があるのかを考えていきます。

令和3年度

春の交通安全市民総ぐるみ運動



塩釜地区交通安全協会

多賀城東部支部長

伊藤 勇

春暖の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。春日頃当会の発展のため、ご尽力いただいております。

さて、令和3年4月6日(火)から4月15日(木)までの10日間、春の交通安全市民総ぐるみ運動が始まります。交通安全に気を付けて安全運転でお願いいたします。